



Japan Society of Bioscience,
Biotechnology, and Agrochemistry

2013.4

会告

カレンダー・・・K-1
お知らせ・・・K-3
支部だより・・・K-4

CALENDAR カレンダー

会
告

期 日	講演・会合等名称(会場),《共催等》,太字=本会関連
2013年(平成25年)	
4/5(金)	シンポジウム「日本農業の原(現)状と未来」(東京)《共催》
4/26(金)	酵素工学研究会第69回講演会(名大)
5/9~10(木~金)	2013年度日本乳酸菌学会泊まり込みセミナー(長野)
5/10~11(金~土)	第20回記念シンポジウム「モレキュラー・キラリティー2013」(京大)《共催》
5/22(水)	食品ハイドロコロイドセミナー2013(東京海洋大)《協賛》
5/23(木)	第24回食品ハイドロコロイドシンポジウム(東京海洋大)《協賛》
5/23~24(水~木)	第30回希土類討論会(福岡)《協賛》
5/24(木)	第5回新産業酵母研究会講演会(東大)
5/25(土)	関西支部例会(第479回講演会)(京府大)
5/25~26(土~日)	第10回ホスト・ゲスト化学シンポジウム(和歌山大)《協賛》
5/27(月)	千里ライフサイエンスセミナーE1「メタボローム研究の疾患への応用を目指して」(大阪)
5/28~29(火~水)	新学術領域研究「天然物ケミカルバイオロジー」第4回公開シンポジウム(つくば)《協賛》
5/31(金)	第302回日本農芸化学会西日本支部例会(日田)
6/1(土)	第23回万有福岡シンポジウム(九大)《協賛》
6/1~2(土~日)	第15回マリンバイオテクノロジー学会年会(沖縄)《協賛》
6/2~5(日~水)	第2回Functional Metagenomics Workshop(南アフリカ)
6/5(水)	千里ライフサイエンス技術講習会(阪大)
6/5~6(水~木)	第103回有機合成シンポジウム(慶應大)《共催》
6/7(金)	日本ゾル-ゲル学会第10回セミナー「機能性ナノスケール材料の最先端」(阪府大)《協賛》
6/7(金)	新規素材探索研究会第12回セミナー(横浜)《共催》
6/7(金)	公益財団法人発酵研究所第7回助成研究報告会(豊中)
6/7~8(金~土)	第40回生体分子科学討論会(阪大)《共催》
6/8(土)	日本農芸化学会中四国支部第36回例会(島根大)
6/13~14(木~金)	第19回地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会(京大)《後援》
6/13~14(木~金)	(財)日本ビフィズス菌センター第17回腸内細菌学会(北里大)
6/19~20(水~木)	平成25年度前期(春季)有機合成化学講習会(東京)《共催》
6/19~21(水~金)	日本ケミカルバイオロジー学会第8回年会(東京医歯大)《後援》
6/21(金)	第63回日本電気泳動学会シンポジウム「電気泳動と質量分析による微生物の分析」
6/22(土)	第58回低温生物工学会セミナー(関西大)《協賛》
6/28(金)	構造活性フォーラム2013(理研)《協賛》
6/29(土)	第24回万有仙台シンポジウム(仙台)《協賛》
7/6(土)	第50回化学関連支部合同九州大会(北九州)
7/18~19(木~金)	セルロース学会第20回年次大会(京大)《協賛》
8/1~2(木~金)	日本ゾル-ゲル学会第11回討論会(広島大)《協賛》
8/1~2(木~金)	千里ライフサイエンス振興財団平成25年度技術講習会(阪大)
8/5~7(月~水)	第32回日本糖質学会年会(大阪)《共催》
8/19~21(月~水)	第3回高校生バイオサミットin鶴岡(鶴岡)《後援》
8/31(土)	向山アルドール反応40周年記念シンポジウム(東京)《後援》
9/10~12(火~木)	第61回日本質量分析総合討論会(つくば)《共催》
9/12~13(木~金)	第30回シクロデキストリンシンポジウム(熊本)《共催》
9/22~26(日~木)	Enzyme Engineering XXII(富山)《共催》

期 日	講演・会合等名称（会場）、《共催等》、太字＝本会関連
9/23～27（月～金）	第15回全反射蛍光X線分析法（TXRF2013）および第49回X線分析討論会合同会議（阪市大）《協賛》
10/4～8（金～火）	第10回アジア・太平洋キッチン・キトサン国際シンポジウム並びに第27回キッチン・キトサンシンポジウム（米子）《協賛》
10/5～7（土～月）	第57回香料・テルペンおよび精油化学に関する討論会（埼玉大）《共催》
10/14～18（月～金）	第18回国際窒素固定会議（18th International Congress on Nitrogen Fixation）（宮崎）《共催》
10/17～19（木～土）	第43回複素環化学討論会（岐阜）《共催》
11/6～8（水～金）	第4回アジア太平洋国際ペプチドシンポジウム，第50回ペプチド討論会（大阪）《共催》
11/7～8（木～金）	第36回情報化学討論会（筑波大）《共催》
11/7～8（木～金）	第41回構造活性相関シンポジウム（関西学院大）《協賛》
11/15～16（金～土）	第46回酸化反応討論会（筑波大）《共催》
11/16～17（土～日）	2013年日本化学会中国四国支部大会（広島）

会員の皆様へお知らせとお願い個人の賛助金（任意）に関する内規の制定と適用について

（公益社団）日本農芸化学会理事会

日本農芸化学会の財政は近年赤字基調となり、2001年度は約875万円（正会員1人当たり800円）、2002年度は約1,500万円（正会員1人当たり1,470円）の赤字を出しております。

このため2003年度第47回通常総会に会費値上げを提案いたしました。健全財政にするためには、会費収入、広告収入など収入増を図る努力とともに欧米の学会でみられるような善意の寄付金の受入れも大変重要です。

そこで、個人の賛助金に関する下記の内規を、2002年10月2日の理事会と全国評議員会の議を経て制定いたし

ました。2003年度から適用されます。

会員の皆様におかれましては、学会は会員が支えるものであるという原点にたちかえり、本年度も引き続きご協力下さいますようお願い申し上げます。

個人の賛助金（任意）に関する内規

第275回（2002年10月2日）理事会承認
第109回（2002年10月2日）全国評議員会承認

個人の賛助金（任意）に関し、以下のよう
に定める。

1. 対象はご協力いただける正会員（一般会員・名誉会員・有功会員・シニア会員・教育会員）とする。

2. 賛助金は一口5,000円とし、一口以上を申し受ける。

3. いただいた賛助金は、定款第54条（寄付金の受領）の規定に基づき処理する。

4. この内規は2003年度（平成15年度）から適用する。

5. お振込み先：振替口座東京00100-5-68187 社団法人日本農芸化学会

※郵便局備え付けの振替用紙をご利用いただいても結構です。

※通信欄にかならず「賛助金」とご記入下さい。

農芸化学会 からの **お知らせ**

総会のお知らせ

第57回定時総会を下記の通り開催いたしますのでお知らせいたします。

日 時：2013年4月26日（金）15:30～16:30（予定）

場 所：東京大学農学部3号館4階大会議室

講演会等の開催補助について

日本農芸化学会学術活動強化委員会では、会員を開催責任者とする、農芸化学および関連分野のセミナー・シンポジウム・講演会等の学術集会へ、下記の補助を行っております。補助をご希望の方は、shomu@jsbba.or.jp までご連絡ください。申請書をお送りいたします。お送りいただきました申請書は、学術活動強化委員会にて選考いたします。

		国際学術集会		藪田講演会・藪田セミナー	
カテゴリー		A-1) 外国人等講演会	A-2) 国際シンポジウム	B-1) 藪田講演会	B-2) 藪田セミナー
申請者		正会員			
補助対象		単数または少数の来日中の外国人研究者（外国在住の日本人を含む）の講演にかかる費用	比較的小規模の国際会議等の招聘外国人研究者の招聘および会議にかかる費用	本学会員以外の日本人研究者による個人講演会にかかる費用	日本人研究者数名によるセミナー、シンポジウムにかかる費用
補助内容	国内旅費	実費	実費（外国人等のみ）	実費	実費
	海外渡航費	不可	可（外国人等のみ）		
	宿泊費	1万円まで／泊（一泊以内）	1万円まで／泊（外国人等のみ）	1万円まで／泊（一泊以内）	1万円まで／泊（一泊以内）
	謝礼	2万円まで／人 （20%の源泉所得税が課せられます）		2万円まで／人 （10%の源泉所得税が課せられます）	
	その他	不可	ポスター、会場費、要旨代、アルバイト代等	不可	ポスター、会場費、要旨代、アルバイト代等
申請額目安 ^(注1)		2～5万円／件 （1人あたり）	20～40万円／件 （補助限度50万円／件）	2～5万円／件	5～40万円／件 （補助限度50万円／件）
補助対象外		・他の団体が主催するセミナー等の経費の一部となるもの	・毎年あるいは隔年、連続して開催されるもの ・大規模（招聘渡航費以外が300万円以上）な国際会議の経費の一部となるもの	・他の団体が主催するセミナー等の経費の一部となるもの ・支部が開催補助すべきと判断されるもの	・毎年あるいは隔年、連続して開催されるもの ・他の団体が主催するセミナー等の経費の一部となるもの
申請締切		随時受付（ただし原則として開催1カ月前まで）	前期：4月30日 後期：10月31日 （原則として申請時より6カ月～2年後に開催されるもの）	随時受付（ただし原則として開催1カ月前まで）	前期：4月30日 後期：10月31日 （原則として申請時より6カ月～1年5カ月後に開催されるもの）

（注1）遠方からの演者に対する旅費が高額になる場合は、上限以上の補助を認める場合がある。

※外国人等：外国在住の日本人を含む

問合せ先：日本農芸化学会事務局庶務係（Tel. 03-3811-8789, E-mail: shomu@jsbba.or.jp）

小学校・中学校・高等学校への出前授業募集

このたび、本会広報委員会では、小学校・中学校・高等学校への出前授業を開始いたします。学校関係者の皆さま、たくさんのご応募をお待ち申し上げます。

趣 旨：日本農芸化学会の会員（科学者や知識人など）が、講師として小・中・高等学校へ出向き、農芸化学（動物・植物・微生物の生命現象、生物が生産する物質、食品と健康などを化学的な考え方に基づき研究する学問）にかかわる授業を、最先端の研究内容の紹介などを含め

ながら、講義・実験・演習を通して有意義に学びます。

授業対象：小学生・中学生・高校生、教員の団体ほか

付帯事項：講師派遣料は本会負担（ただし必要な備品などはご準備いただきます）

授業時間：1～2コマ授業（1コマ45分）

授業形態：クラス単位（複数クラス可）

対象地区：日本全国（北海道、東北、関東、中部、近畿、中国四国、九州地区）

申込方法：申請書を郵送またはメール添付

（PDF）にてお申込み下さい。申請書受付後、本会で調整し、派遣講師と授業内容をお知らせします。

申請書請求・問合せ先：日本農芸化学会事務局広報係 東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル2階

Tel. 03-3811-8789

E-mail:soumu@jsbba.or.jp

その他：申込多数の場合は個別に相談のうえ、適宜実施させていただきます。

正会員（一般会員・シニア会員・教育会員）、学生会員各位へ 会費および購読料について

2013年度会費・購読料のご納入について、2013年3月、6月、11月に振替用紙をお送りいたします。また、口座引落（銀行・郵便）につきましては、2013年（平成25年）3月1日引落になっております。

《ご注意》2012年度（平成24年度）会費、購読料をご納入いただいていない会員の方には、2013年度会費との合計金額を印字した振替用紙をお送りいたします。

なお、会費が納められていない場合は入金を確認されるまで、学会誌の送本を一時停止しています。

○退会を希望される方へ

退会を希望される方は、文書（ハガキ、Fax [03-5803-9562, 会員係あて]、E-mail [kaiin@jsbba.or.jp]）で会員名・会員番号（ID）・簡単な退会理由を明記のうえ、退会届を出していただいております。なお、Webからも退会申請ができます。下記のURLを参照の上、お手続き下さい。

○会員関係問合せ先：Tel. 03-5803-9561

2013年度（平成25年度）会費および購読料

会員種別		会費(年)	BBB購読料(年)
正会員	一般会員	10,000円	8,400円
	シニア会員	8,000円	8,400円
	教育会員	6,000円	8,400円
学生会員		6,000円	5,560円
団体会員		30,000円	
維持会員		1口60,000円	

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆ 新入会・登録情報変更などのURLについて

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆
新規入会、登録情報確認・変更のURLは下記のとおりです。

登録情報を確認、変更される場合、会員ID（会員番号）とパスワードが必要です。

ご登録いただきました会員データに基づき学会誌の発送、会費・購読料の請求を

行っておりますが、登録データは外部に漏れることがないように十分注意を払っております。

会員登録の変更につきましては、Web上では変更できない箇所も定めておりますので、E-mailまたはFaxでも受け付けております。

この際、登録内容をご確認いただき、E-mailなどご登録いただいていないようでしたら是非ご登録下さいますようご協力下

さい。

[日本農芸化学会ホームページURL]

<http://www.jsbba.or.jp/>

なお、パスワードを紛失された場合は「パスワード再発行」を行って下さい。取得されたパスワードを独自のパスワードに変更する場合は「パスワードの変更」で手続きすることができます。

《事務局会員係》Tel. 03-5803-9561, Fax. 03-5803-9562, E-mail: kaiin@jsbba.or.jp



支部だより

関西支部例会 (第479回講演会)

開催日：2013年5月25日（土）

場所：京都府立大学

講演会：一般講演、2013年度農芸化学奨励賞受賞講演[石崎公庸（京大院生命）]および産学交流会、支部参与会、ミキサー
詳細は、支部ホームページ（<http://www.kansai-jsbba.jp/>）で御確認ください。

連絡先：増村威宏（Tel & Fax. 075-703-5675 [Tel. 0774-93-3261（生物資源研究センター）] E-mail:masumura@kpu.ac.jp）

第302回日本農芸化学会 西日本支部例会

期日：2013年5月31日（金）13:00～

会場：サッポロビール九州日田工場

プログラム：[特別講演] 林 毅（別府大学食物栄養科学部）「呼吸欠損 *Zymomonas mobilis* の高エタノール生産メカニズムの研究」、榊原陽一（宮崎大学農学部）「硫酸転移酵素研究の新展開」、立花宏文（九州大学大学院農学研究院）「食品の機能性研究における新たな視点」、懇親会（夕刻より）
詳細は支部ホームページ（<http://www.kyushu-u.ac.jp/jsbba-west/>）にて

事務局：九州大学大学院農学研究院（中島崇）Tel. & Fax. 092-642-4215

日本農芸化学会中四国支部 第36回例会

期日：2013年6月8日（土）13:00～

会場：島根大学生物資源科学部

特別講演：2013年度農芸化学奨励賞、支部奨励賞受賞講演

一般講演：講演申込み締め切り5月10日、講演要旨締め切り5月17日

参加費：無料

懇親会：島根大学生協（一般4,000円、学生2,000円（予定））

申込・問合せ先：島根大学生物資源科学部（川向 誠）Tel. 0852-32-6583

E-mail:kawamuka@life.shimane-u.ac.jp

詳細は支部ホームページ（<http://jsbba-cs.jp/>）をご覧ください。

第50回化学関連支部合同 九州大会研究発表募集

共催：日本農芸化学会西日本支部ほか7化学関連支部

期日：平成25年7月6日（土）

会場：北九州国際会議場およびAIMビル

（北九州市小倉北区浅野3-9-30）

プログラム：〔第50回記念特別講演〕玉尾皓平先生（（独）理化学研究所基幹研究所所長）、神谷信夫先生（大阪市立大学複合先端研究機構教授）

発表申込期間：平成25年3月1日（金）～4月15日（月）

予稿原稿締切：平成25年5月20日（月）
申し込み方法、予稿原稿の執筆要領およびプログラムの詳細は今後、大会ホームページ（<http://www.moji-retro.net/godo50/>）で公開します。

メールアドレス登録のお願い

本会では、メーリングシステムとWEBによる会員名簿の整備を進めております。このシステムのいっそうの充実を図るため、会員の皆様方にはメールアドレスのご登録をお願いしたいと存じます。

本会庶務係（shomu@jsbba.or.jp）まで、**氏名、登録用メールアドレス**

ドレスをお送り下さいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

会員情報システムを通じて登録、閲覧される情報はSSL暗号化通信によって外部からの盗聴を防いでおります。

会員の拡充にぜひともご協力を!!

本会では、（一般会員：会費年額10,000円、シニア会員：会費年額8,000円、教育会員：会費年額6,000円、学生会員：会費年額6,000円）および（維持会員：会費年額1口60,000円、団体会員：会費年間30,000円）の拡充を行っております。農芸化学に関係のある大学、官公庁、民間会社などの研究者、関係業務に従事して

いる方などがお知り合いにおられましたら、ぜひ本会への入会をご勧誘下さるようお願いいたします。入会の手続きなどの詳細につきましては、下記ホームページへアクセスして下さい。

◇URL <http://www.jsbba.or.jp/>

会費・購読料の納入にご協力下さい

本会会費・購読料のご納入につきまして

は、その年度の2月末に、納入のための振替用紙をお送りいたしております。会員の皆様は、この振替用紙を用い、会費・購読料をご納入下さいますようお願いいたします。

会費の未納は、学会誌などの送付・大会講演発表などに影響いたしますので、何卒速やかにご納入下さいますようお願い申し上げます。